

「第 2 次丹波市環境基本計画」策定のための
事業所アンケート調査結果

◆アンケート実施概要

実施時期	平成 28 年 11 月 11 日から 11 月 25 日まで
実施方法	郵送配布・郵送回収
配布数	100
回収数・回収率	67 (67%)

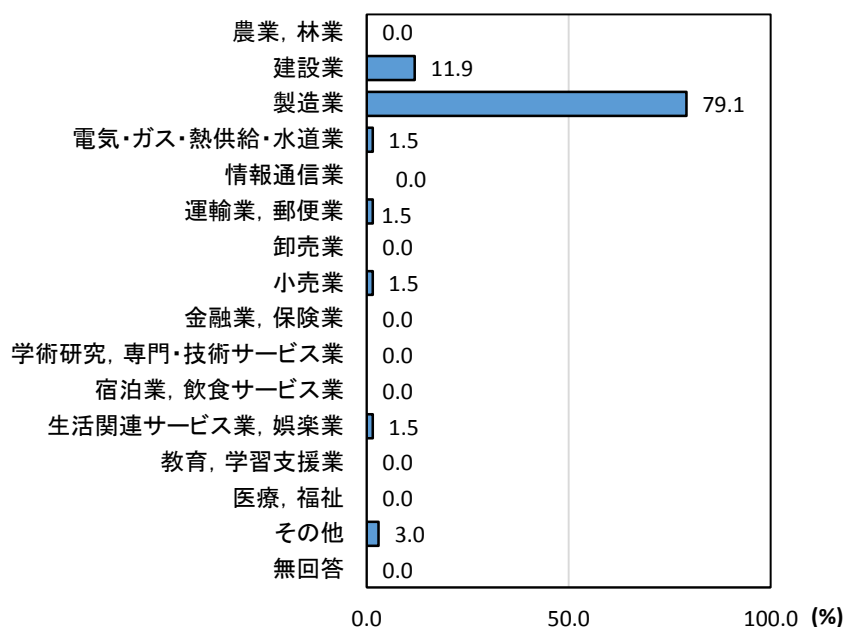
丹波市

平成 29 年 1 月

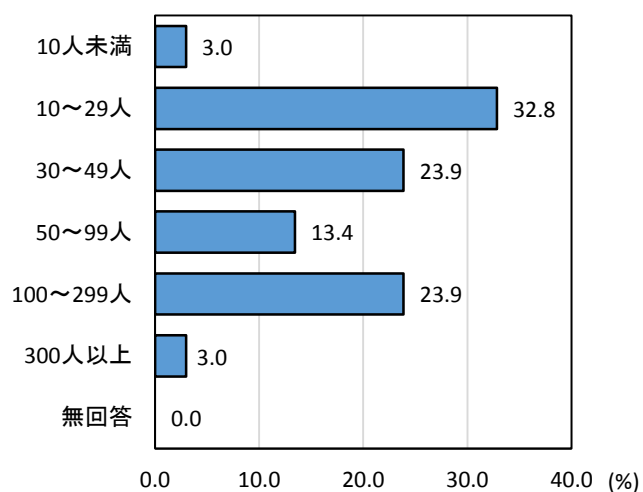
I 貴事業所についてお聞きます。

- 回答のあった事業所の79.1%が「製造業」、次いで11.9%が「建設業」であった。
- 事業所の種別は、「工場、作業所、研究所」が80.6%で最多、次いで事務所のみ7.5%となっている。

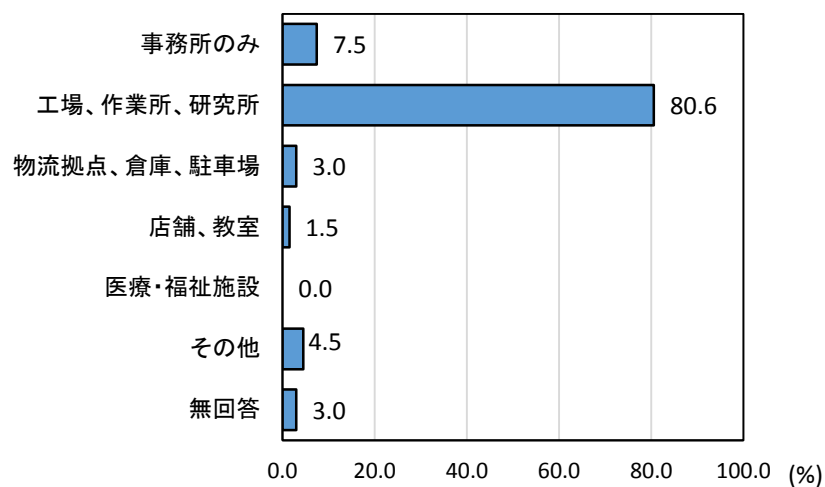
問1. 貴事業所の業種を選択してください。(〇は1つ)



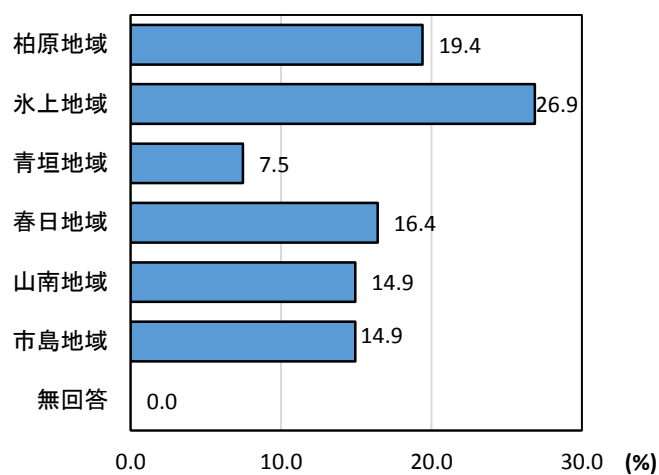
問2. 貴事業所の従業員規模をお答えください。(〇は1つ)



問3. 貴事業所の種別をお答えください。(主な用途を1つ選んで○)

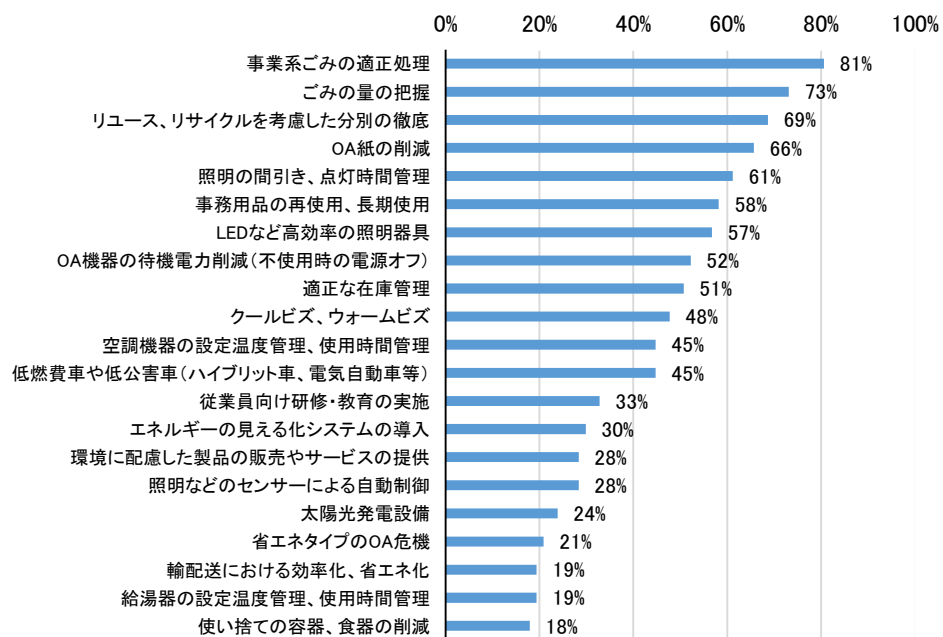


問4. 貴事業所のある地域をご記入下さい。(○は1つ)



Ⅱ 環境問題に関する貴事業所の取り組みについてお聞きします。

- 環境問題への取り組み(問5)として、導入済み率の上位は、「事業系ごみの適正処理」、「ごみ量の把握」など、3Rに関連する項目で、3Rの取り組みは、事業所に浸透していることがうかがえる(図1)。しかし、これらの取り組みを従業員数別で比べると、50人未満の事業所の導入率は低く、今後の普及が課題である(図2)。
- 新エネルギー関連では、太陽光、太陽熱の利用は23.9%が導入済みと答えており、徐々に浸透していることが分かる。一方で、「コージェネレーションシステム、ヒートポンプ等効率的なエネルギーシステム」や「バイオマス資源の利用」、「バイオマスエネルギーの利用」の導入率は低く、今後の普及が必要である。
- その他、特徴的な事項として、「従業員向け研修・教育の実施」は32.8%程度にとどまることが挙げられ、「環境問題への取り組みを進める上での問題点(問6)」を聞いたところ、「手間や時間がかかる」(44.8%)、「資金の不足」(44.8%)、「人員の不足」(32.8%)、「ノウハウの不足」(31.3%)となっている。
- 「クールビズ、ウォームビズ」、「低燃費車や低公害車」は、半数近くが導入済みと答えており、普及が進みつつあるといえる。しかし、「クールビズ、ウォームビズ」を従業員数別でみると50人未満の事業所の導入率は低く(図3)、今後の普及が課題である。
- 環境マネジメントシステムは、46.3%が導入済みと答える一方で、38.8%は「導入する予定がない」と答えている。(問7)
- 「環境問題への取り組みを進める上で、市に支援欲しいこと(問8)」を聞いたところ、61.2%が「補助金等の金銭的負担の軽減」、31.3%が「ノウハウを学ぶ機会の提供(出前講座、学習会の開催等)」と答えており、支援の在り方についての検討が必要と考えられる。



(中 略)

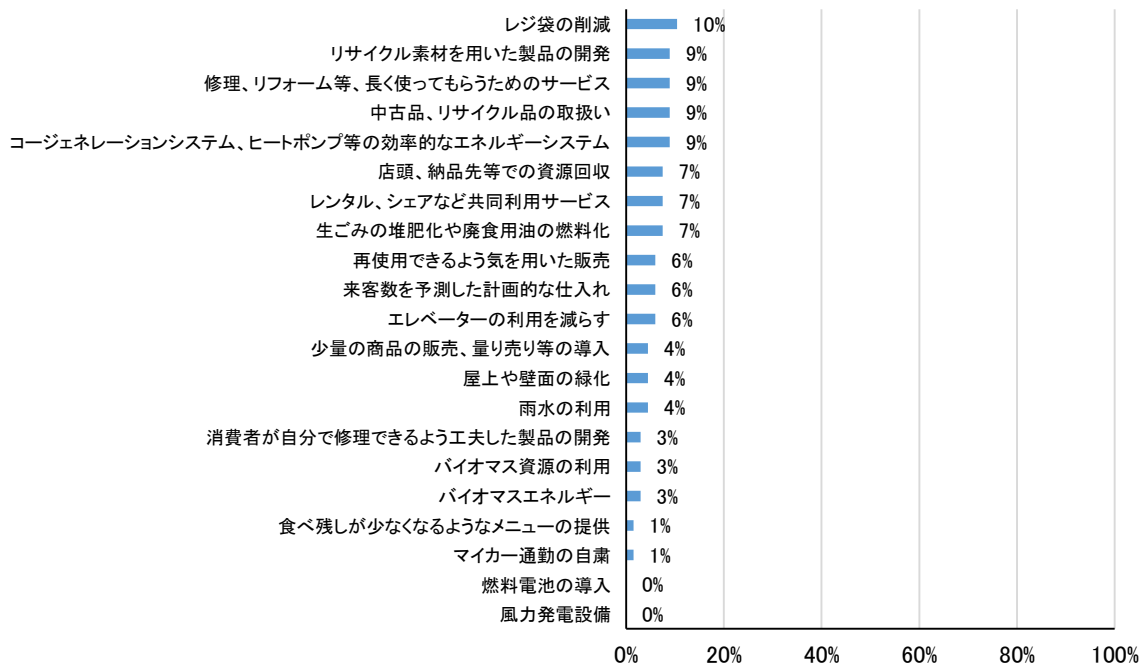


図1 導入済みと答える企業の割合上位20項目と下位20項目

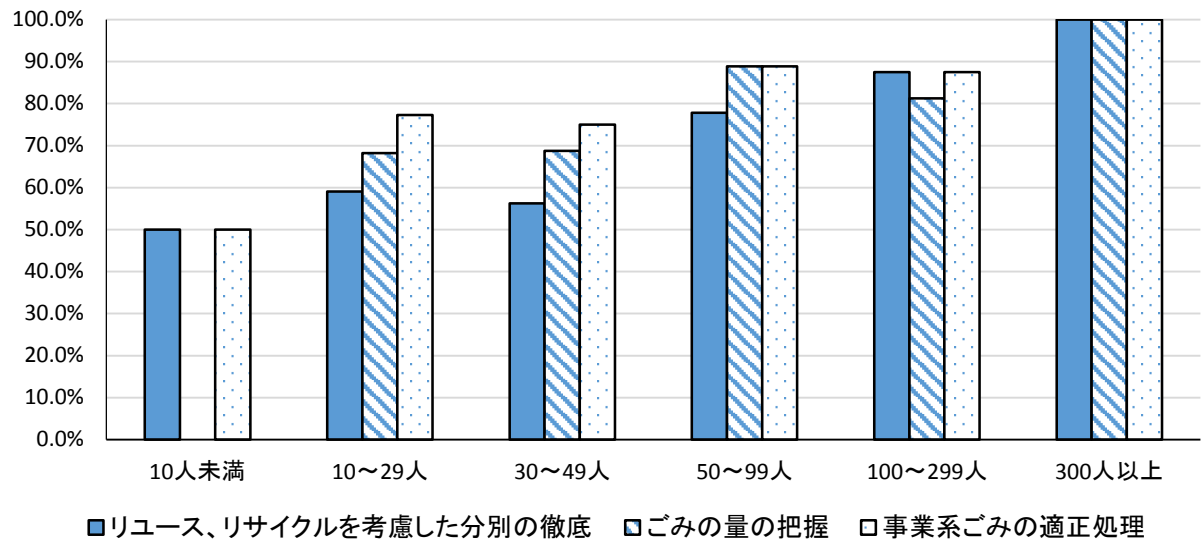


図2 事業所の従業員規模別にみた環境問題への取り組みの上位3つの導入率

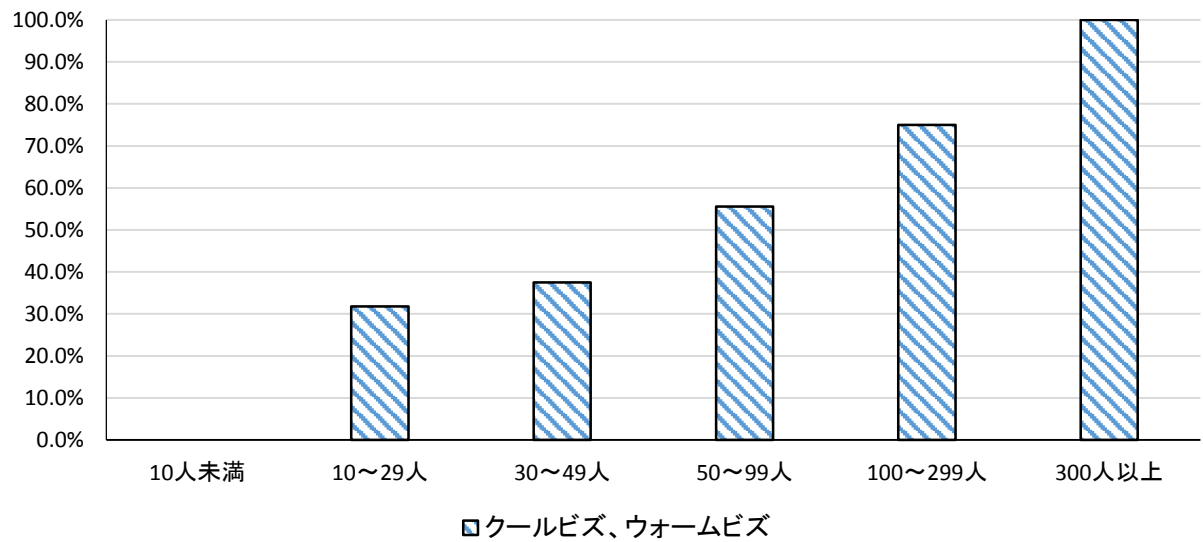
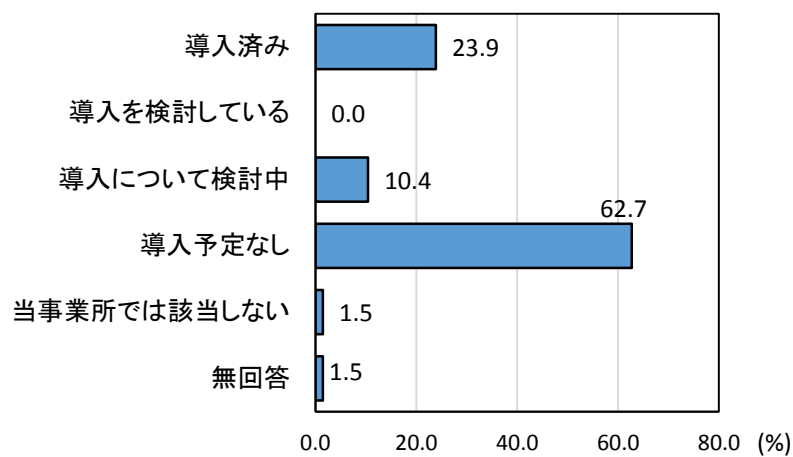


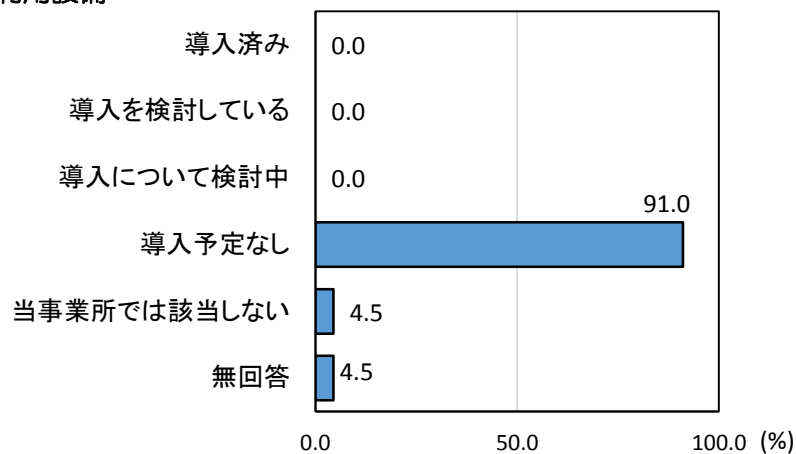
図3 事業所の従業員規模別にみたクールビズ、ウォームビズの導入率

問5. 事業活動において、省エネやごみ減量等の取り組みをどの程度行っていますか。または、行う予定ですか。(〇は1つつつ)

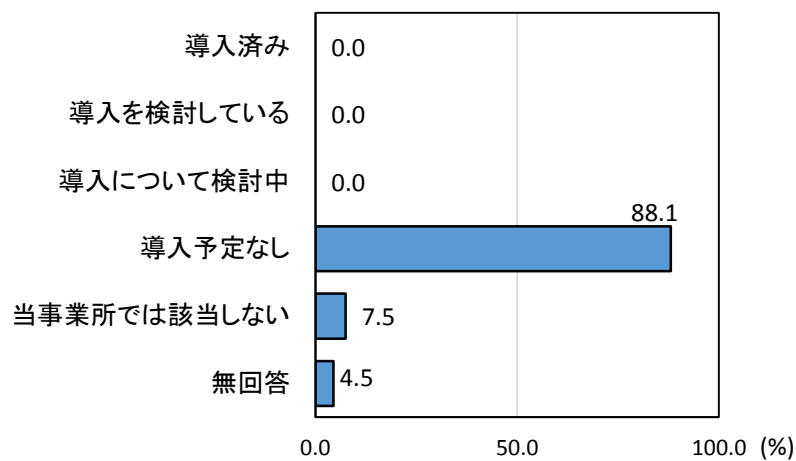
太陽光発電設備



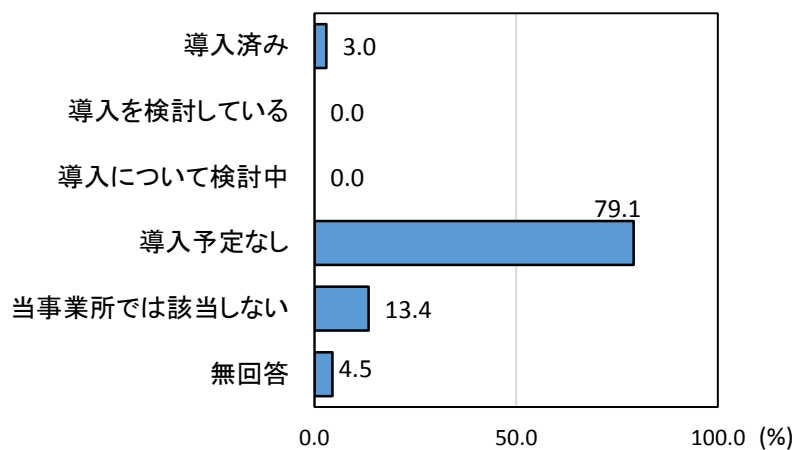
太陽熱利用設備



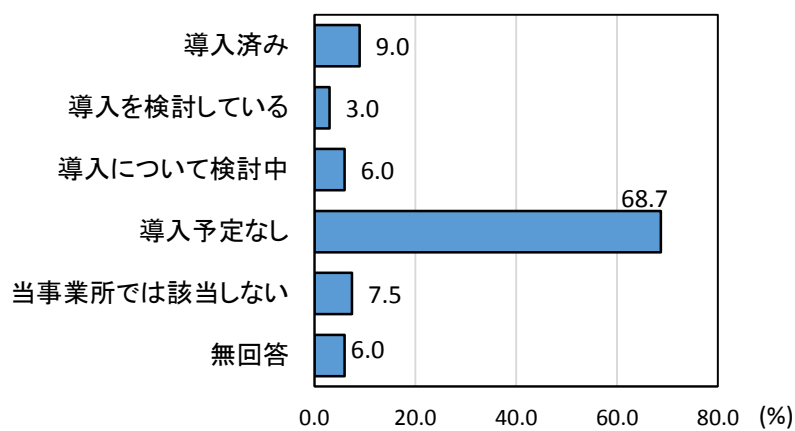
風力発電設備



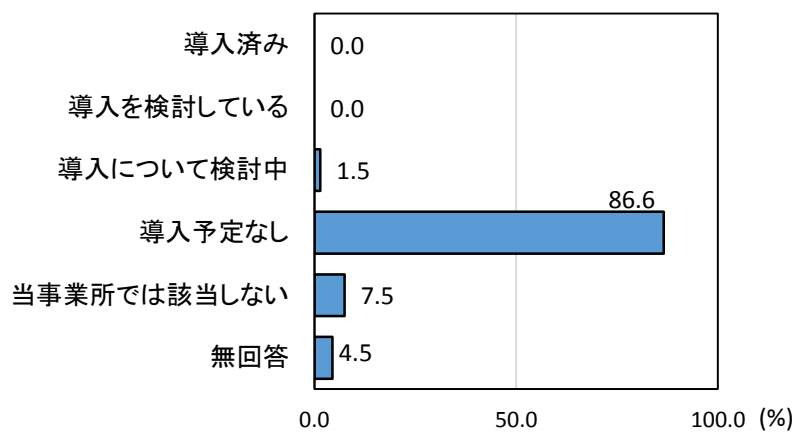
バイオマスエネルギー



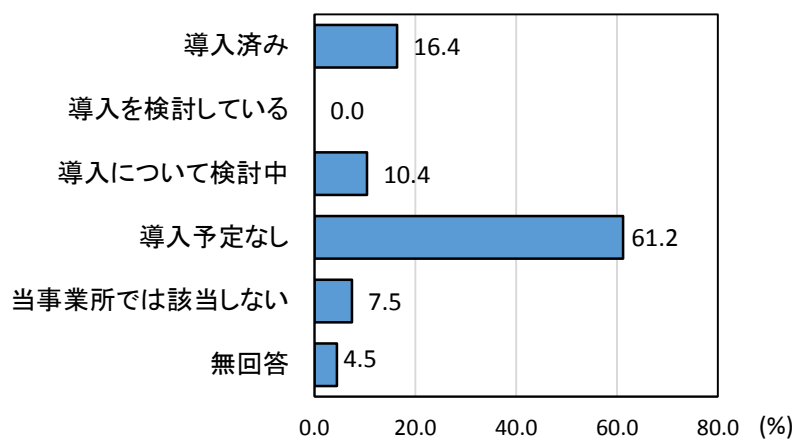
コージェネレーションシステム、 ヒートポンプ等の効率的なエネルギーシステム



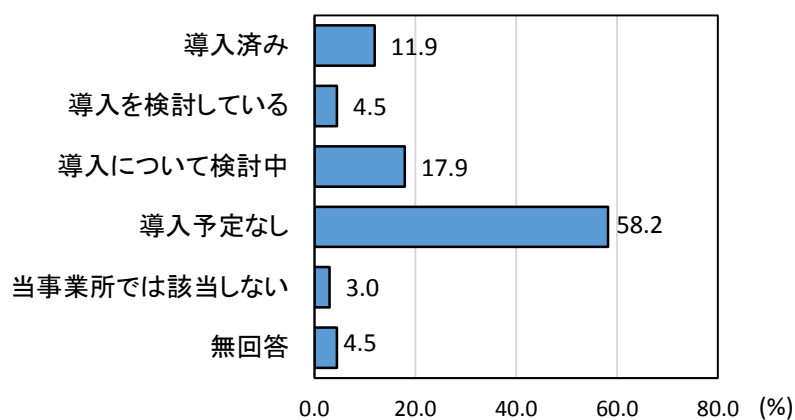
燃料電池の導入



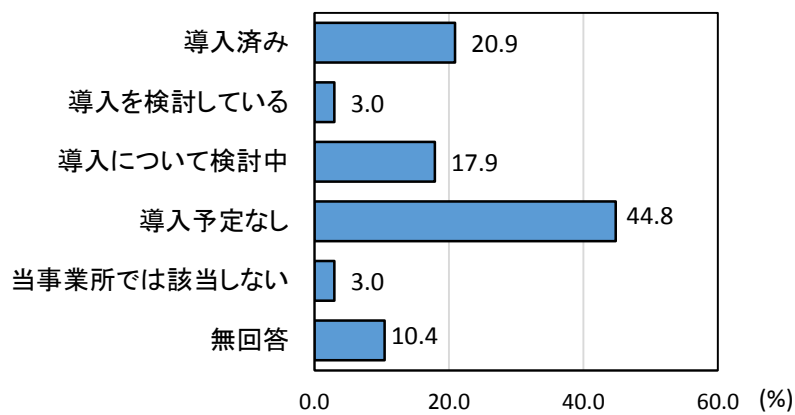
高効率モータの導入



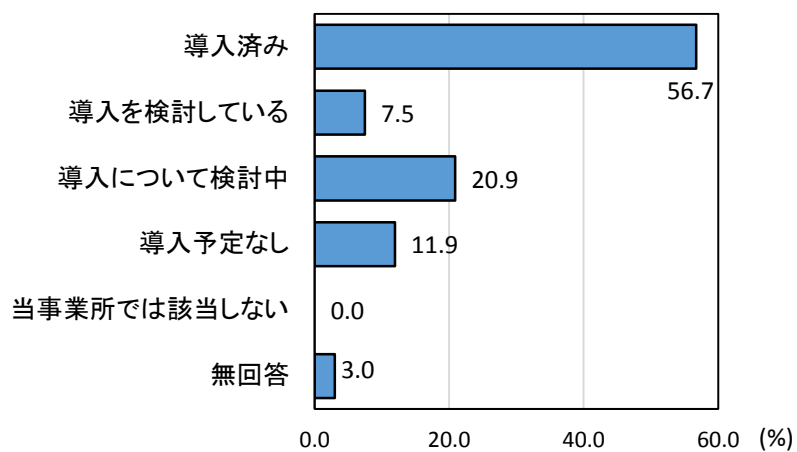
高効率空調システム



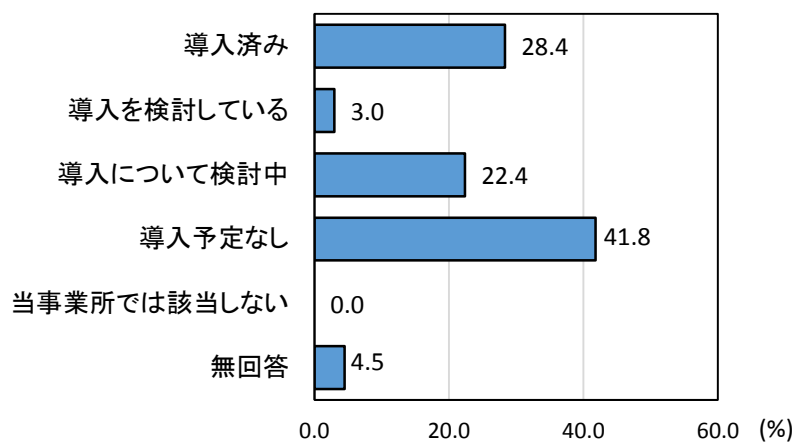
省エネタイプのOA機器



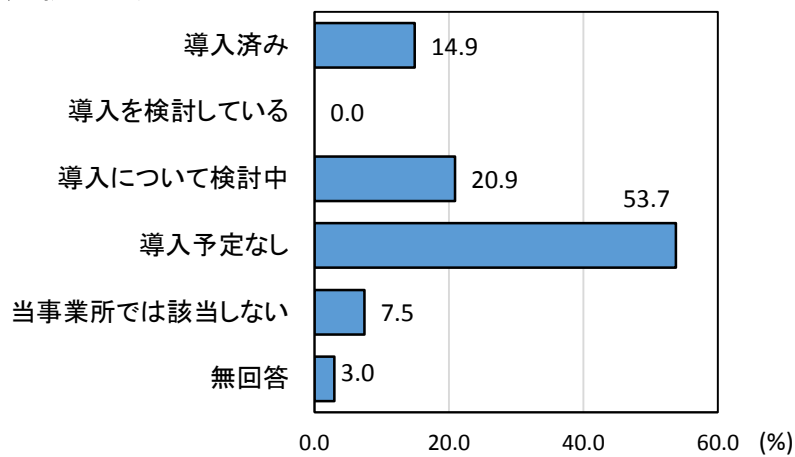
LED など高効率の照明器具



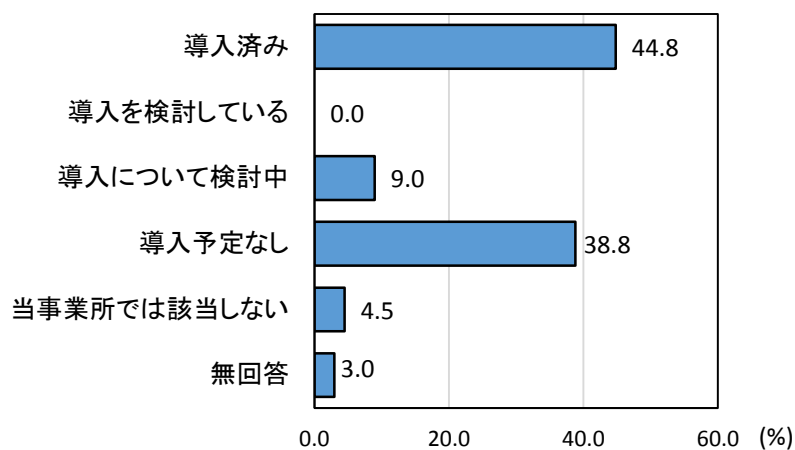
照明などのセンサーによる自動制御



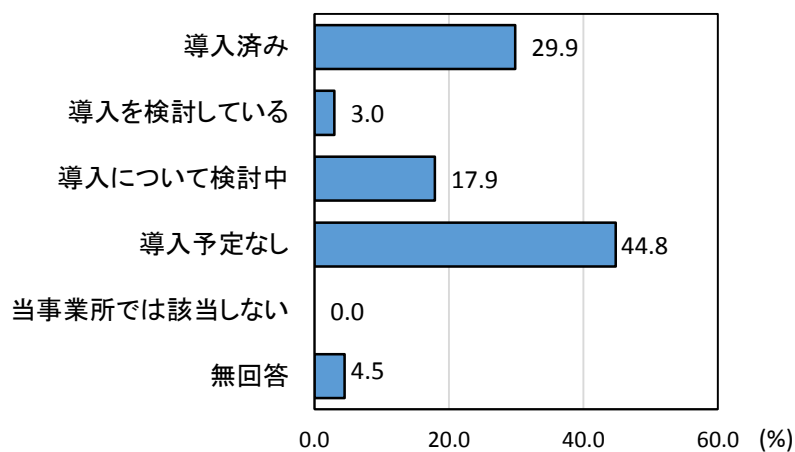
事業所建物の断熱化



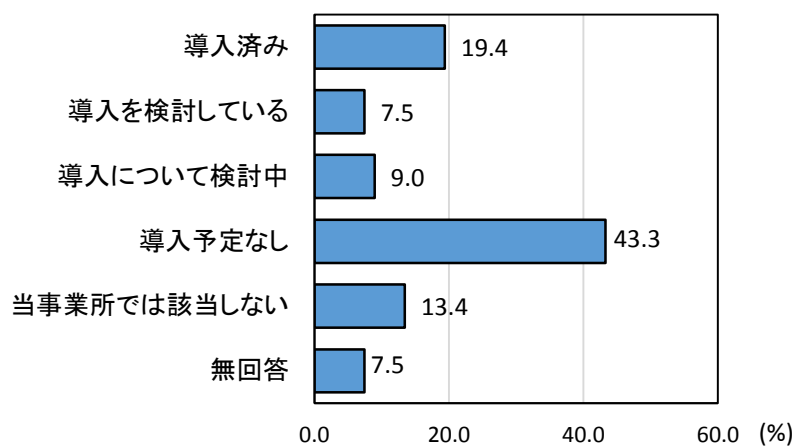
低燃費車や低公害車（ハイブリット車、電気自動車等）



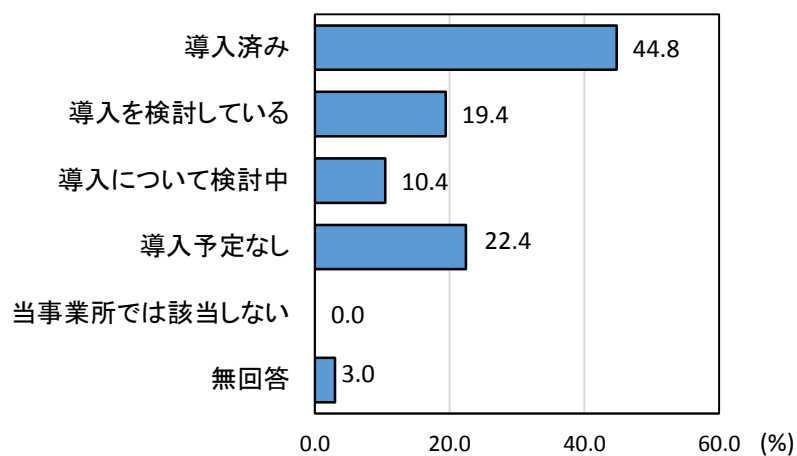
エネルギーの見える化システムの導入



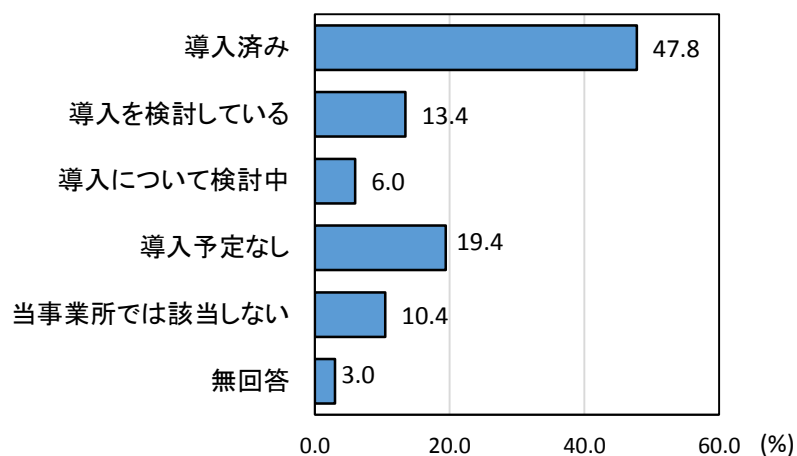
給湯器の設定温度管理、使用時間管理



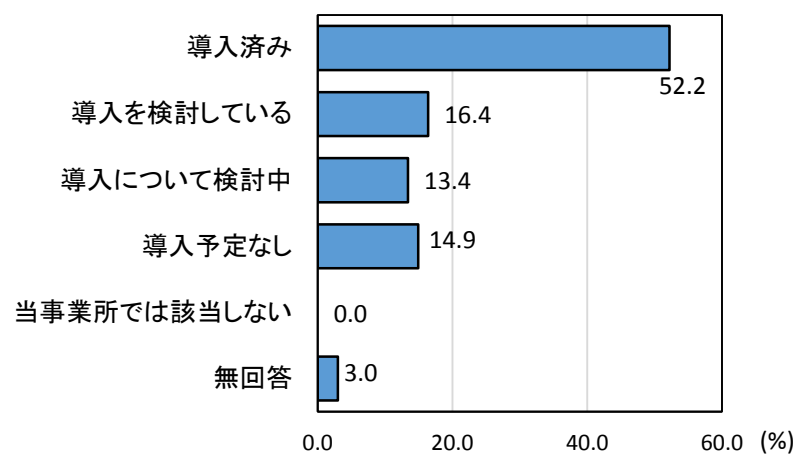
空調機器の設定温度管理、使用時間管理



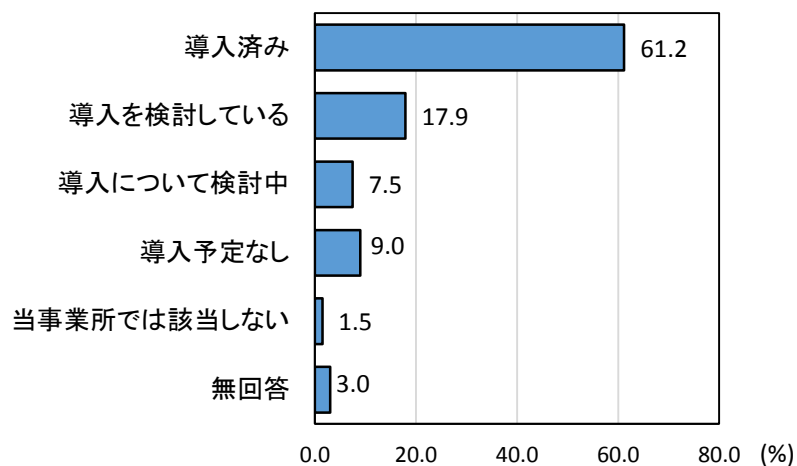
クールビズ、ウォームビズ



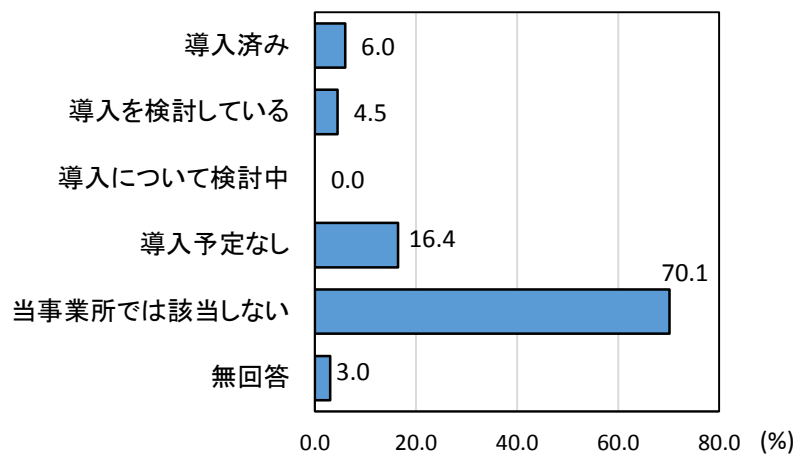
OA 機器の待機電力削減（不使用時の電源オフ）



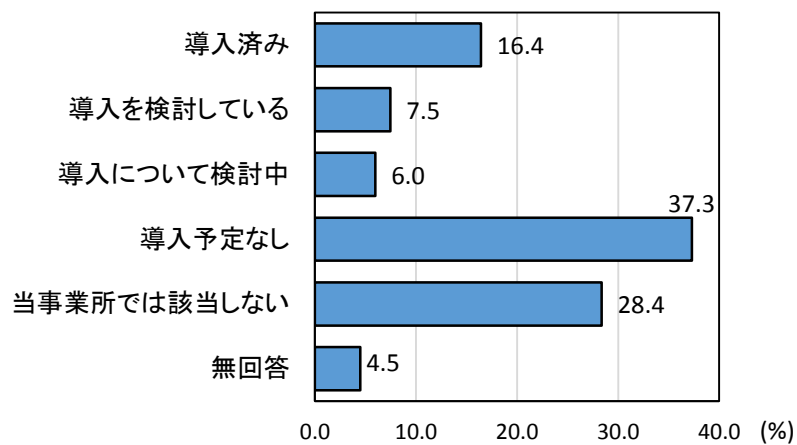
照明の間引き、点灯時間管理



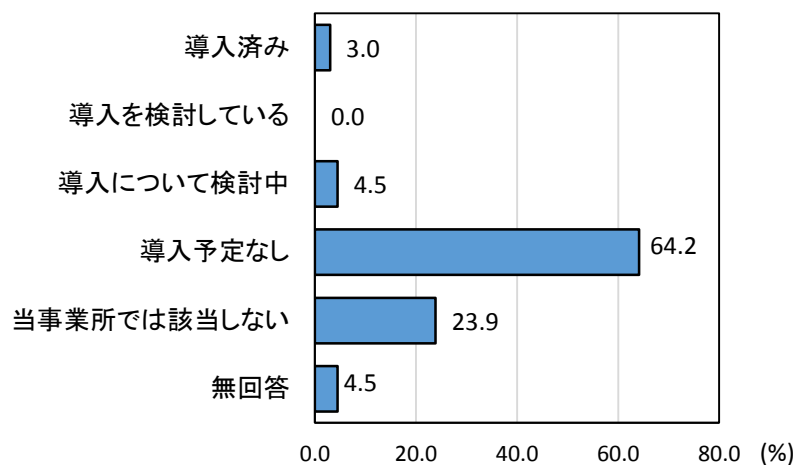
エレベーターの利用を減らす



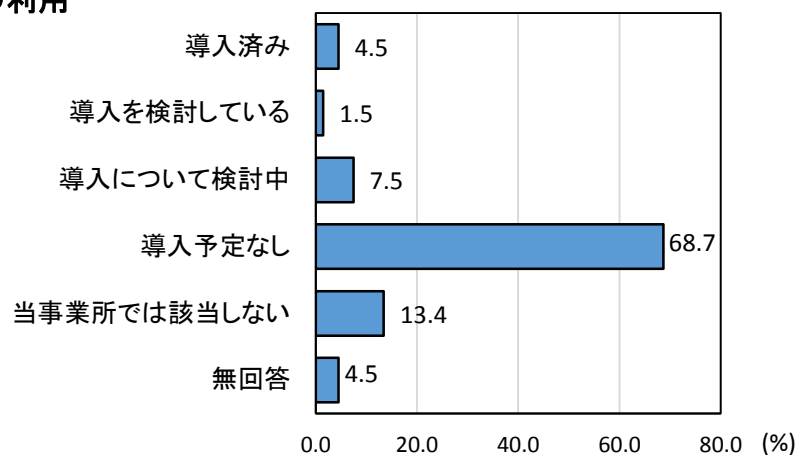
夜間電力の利用



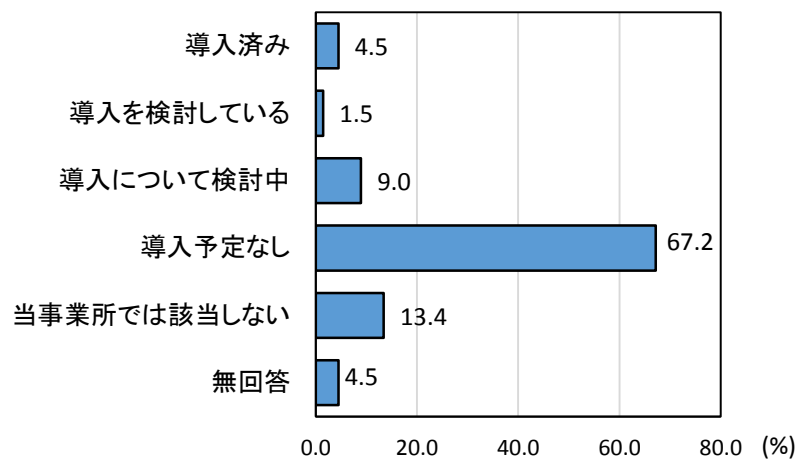
バイオマス資源の利用



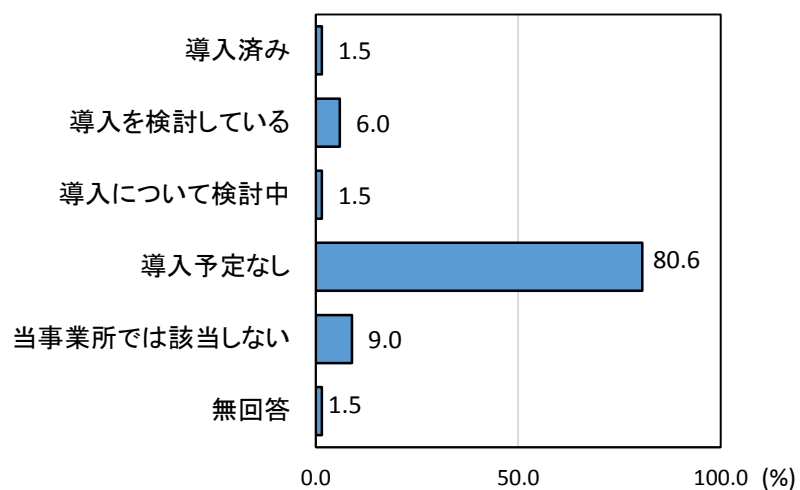
雨水の利用



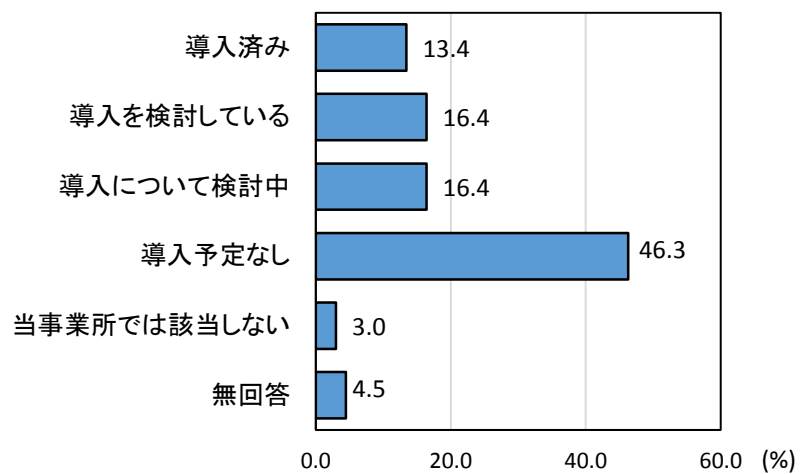
屋上や壁面の緑化



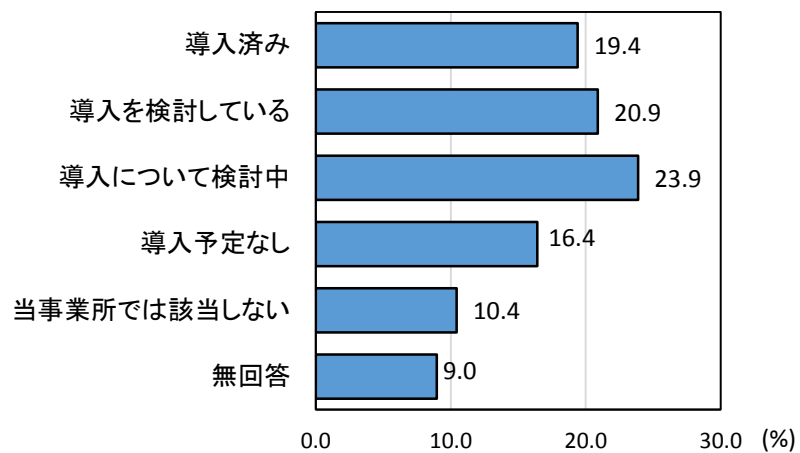
マイカー通勤の自粛



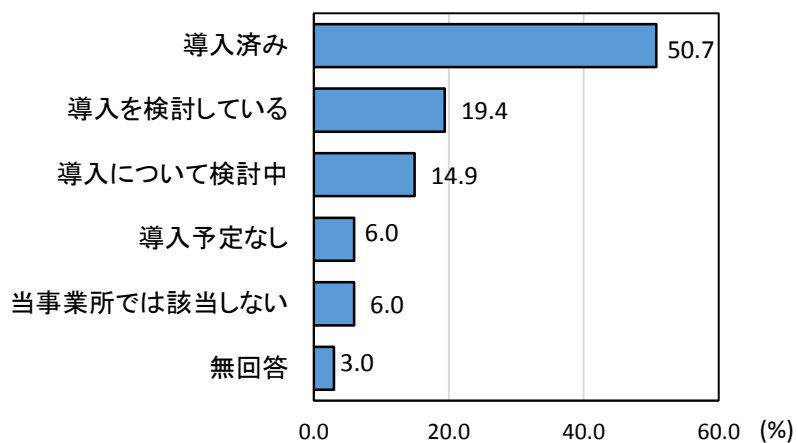
エコドライブの実践



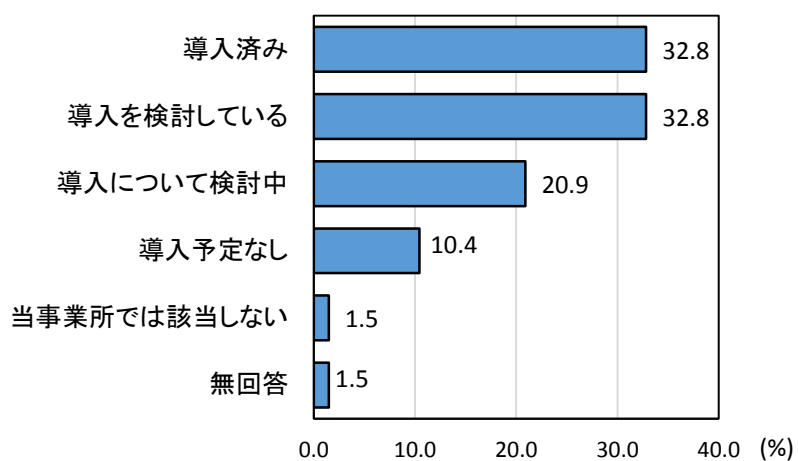
輸配送における効率化、省エネ化



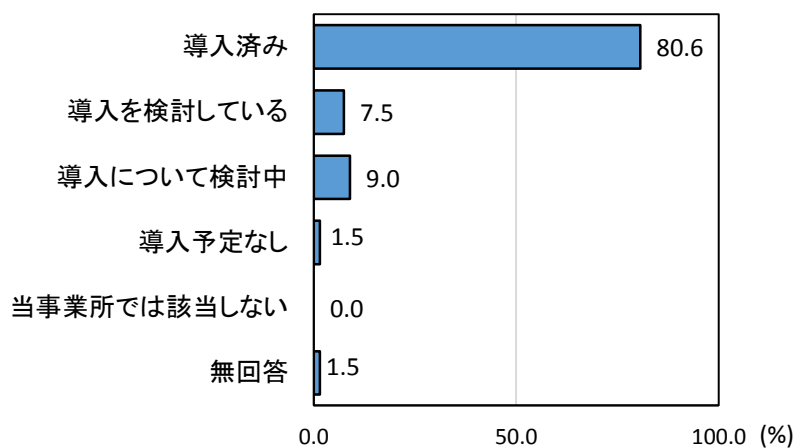
適正な在庫管理



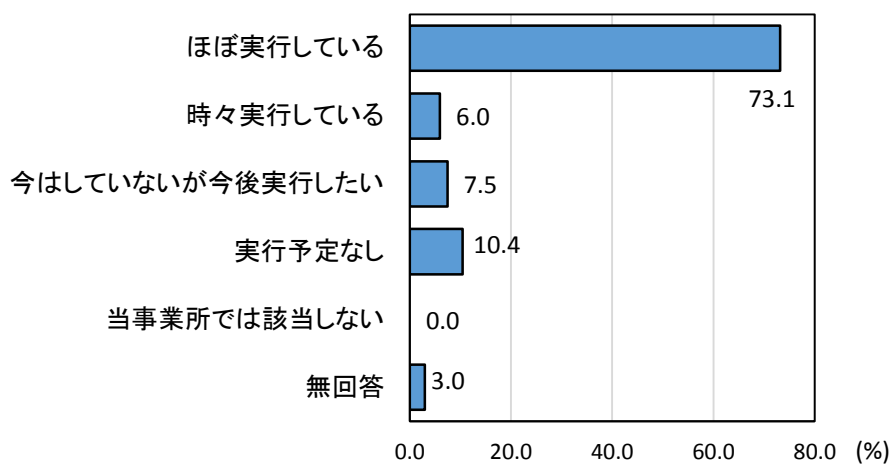
従業員向け研修・教育の実施



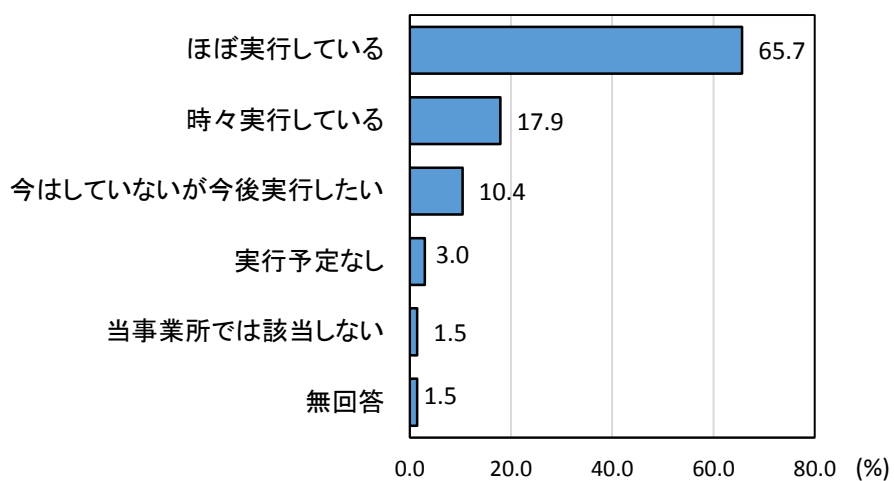
事業系ごみの適正処理



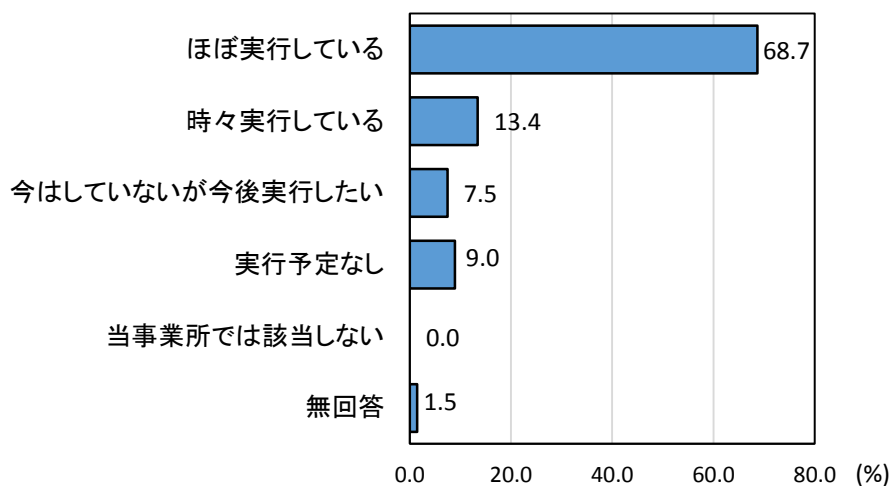
ごみの量の把握



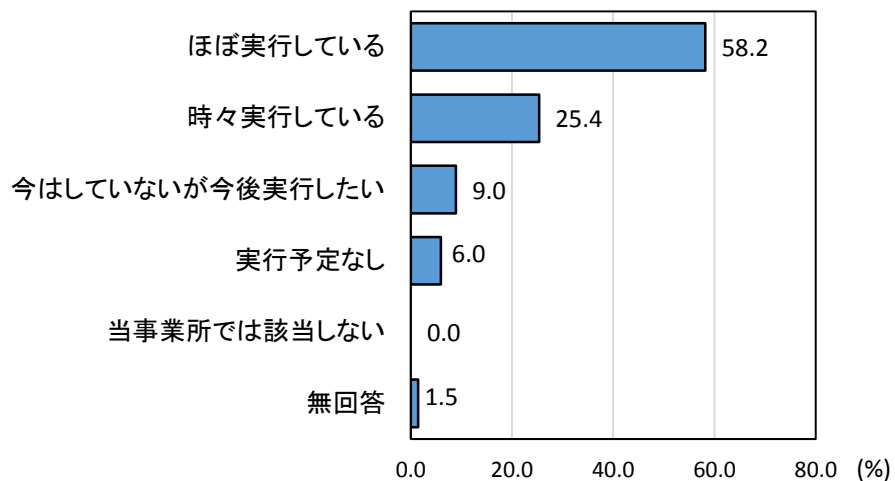
OA 紙の削減



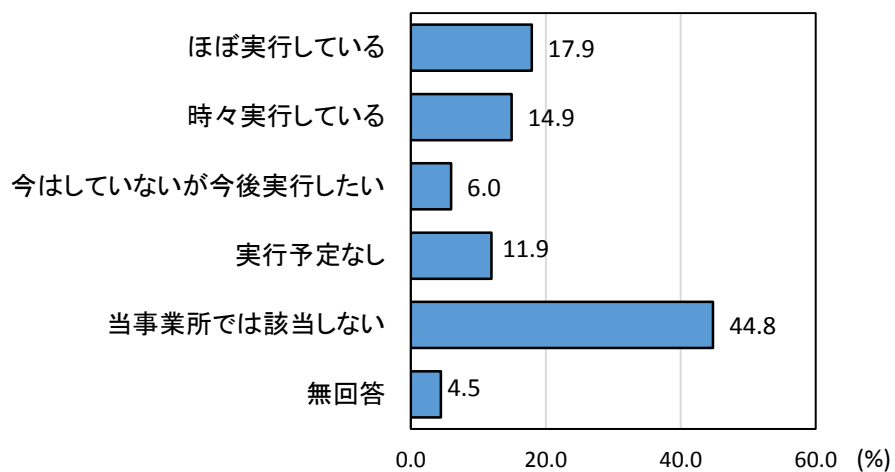
リユース、リサイクルを考慮した分別の徹底



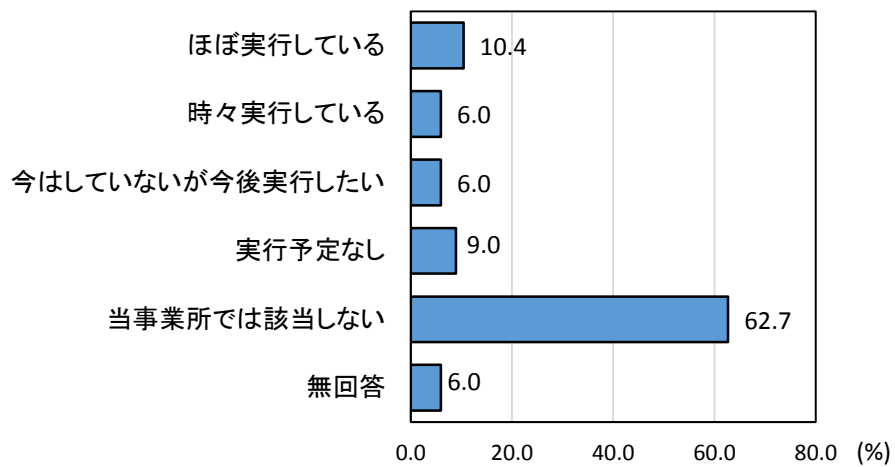
事務用品の再使用、長期使用



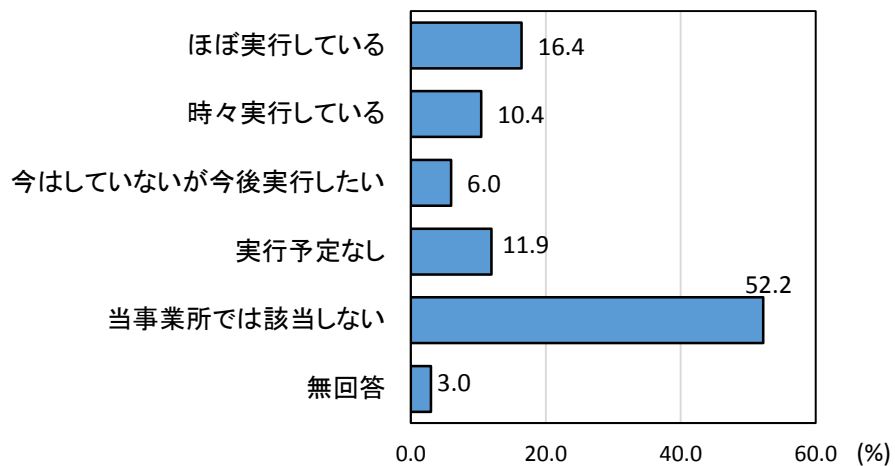
使い捨ての容器、食器の削減



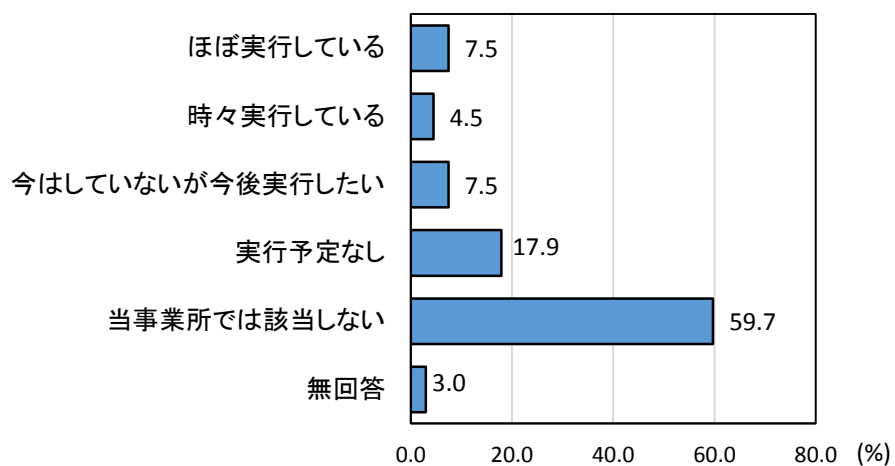
レジ袋の削減



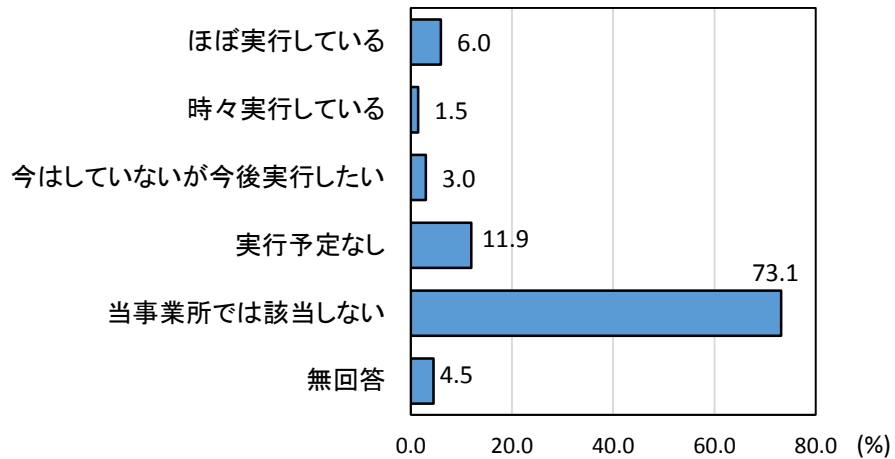
ごみの脱水(水切り)



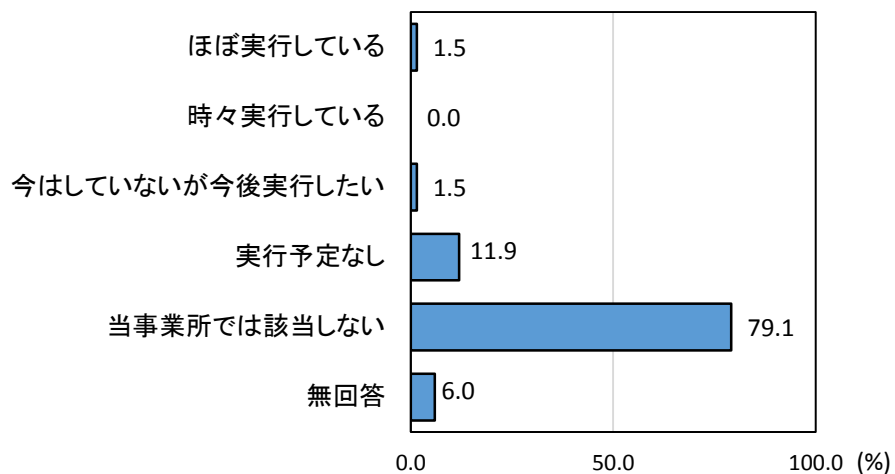
生ごみの堆肥化や廃食用油の燃料化



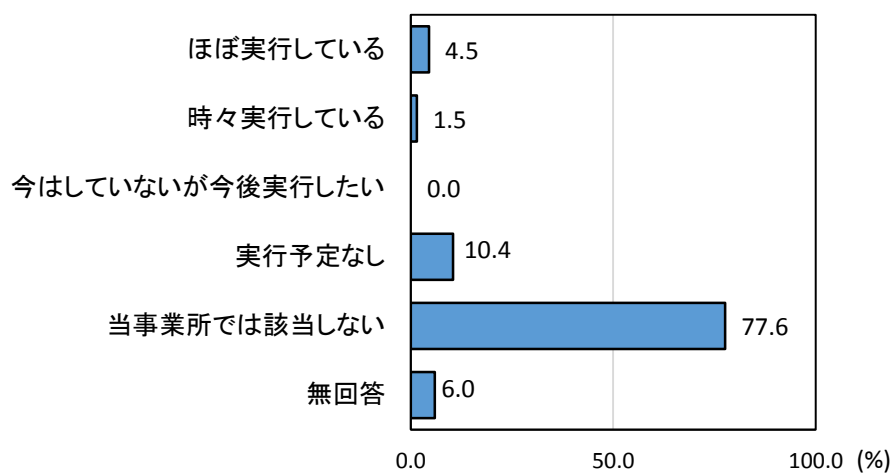
来客数を予測した計画的な仕入れ



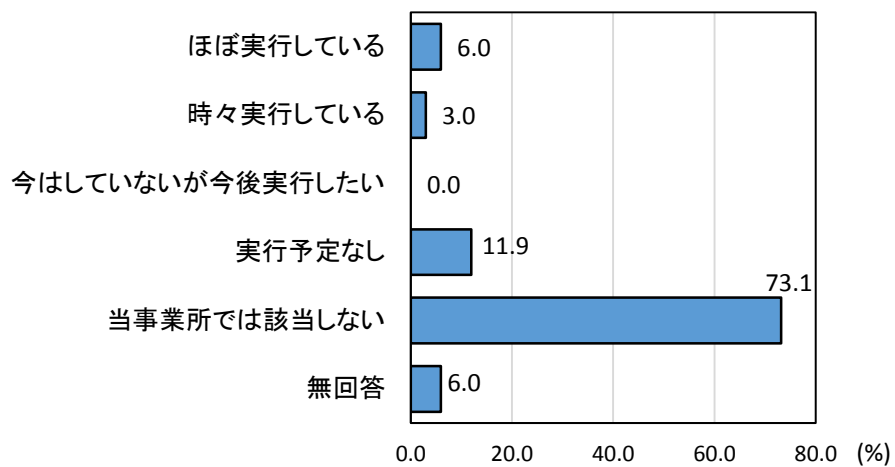
食べ残しが少なくなるようなメニューの提供



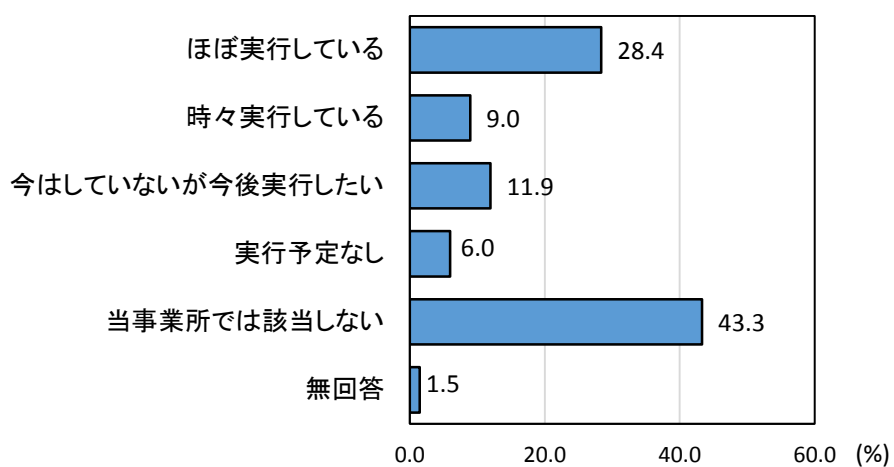
少量の商品の販売、量り売り等の導入



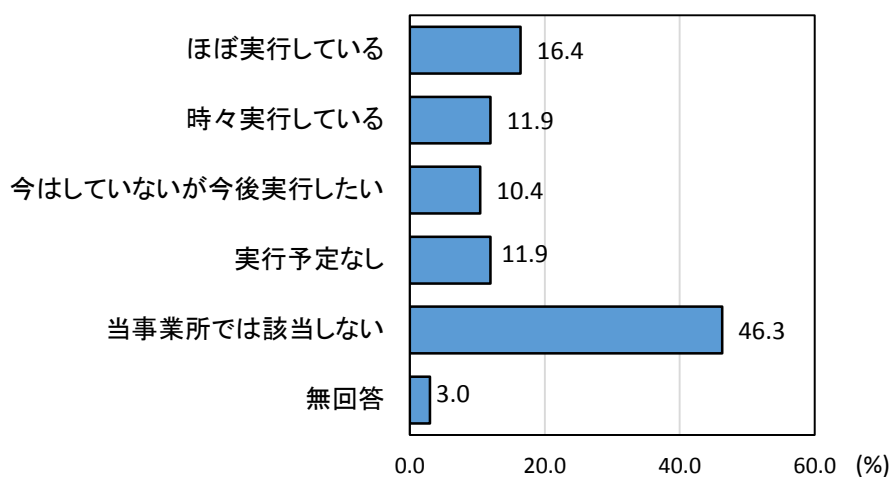
再使用できるよう気を用いた販売



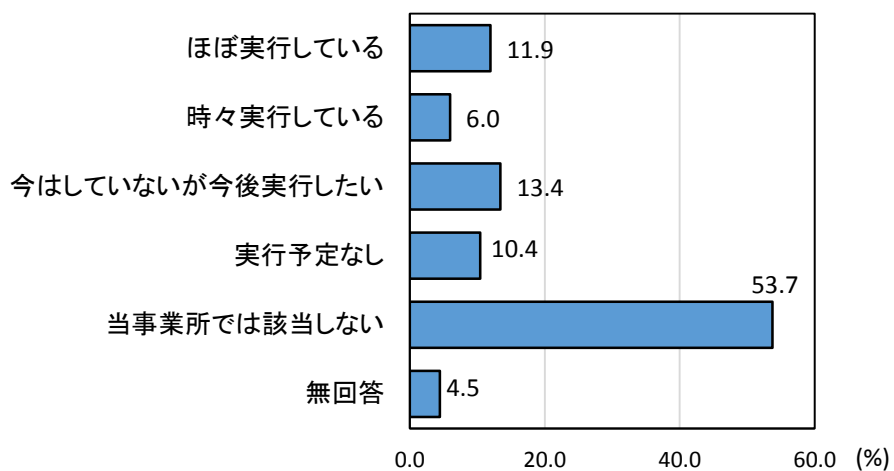
環境に配慮した製品の販売やサービスの提供



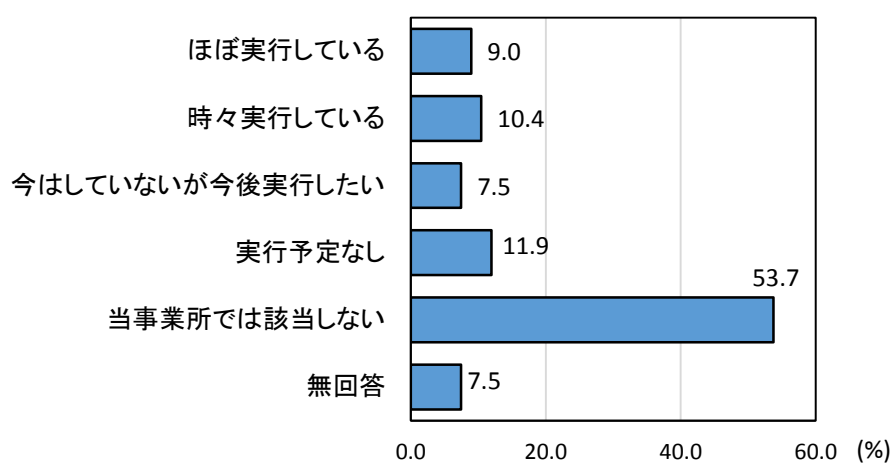
環境負荷情報を明示した商品・サービスの販売



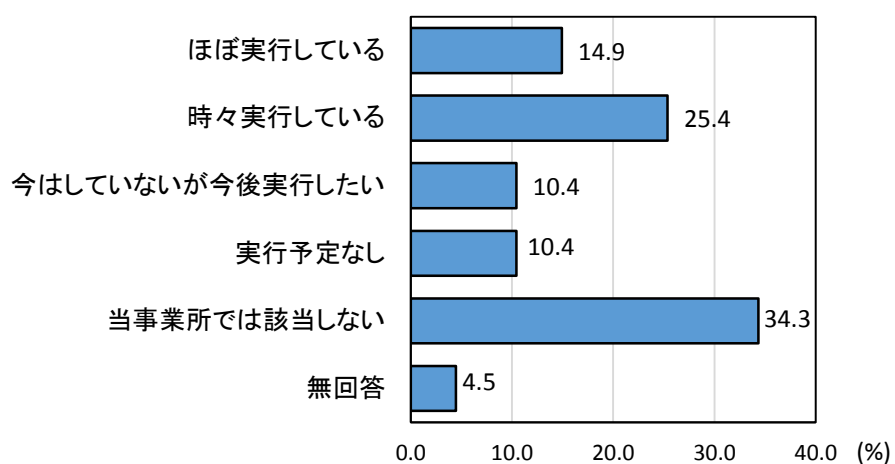
丹波市や近隣地域の産品の取扱い(地産地消)



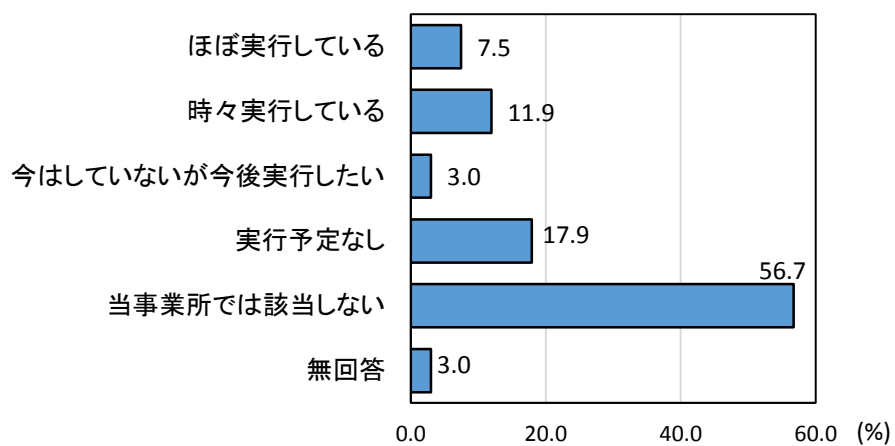
中古品、リサイクル品の取扱い



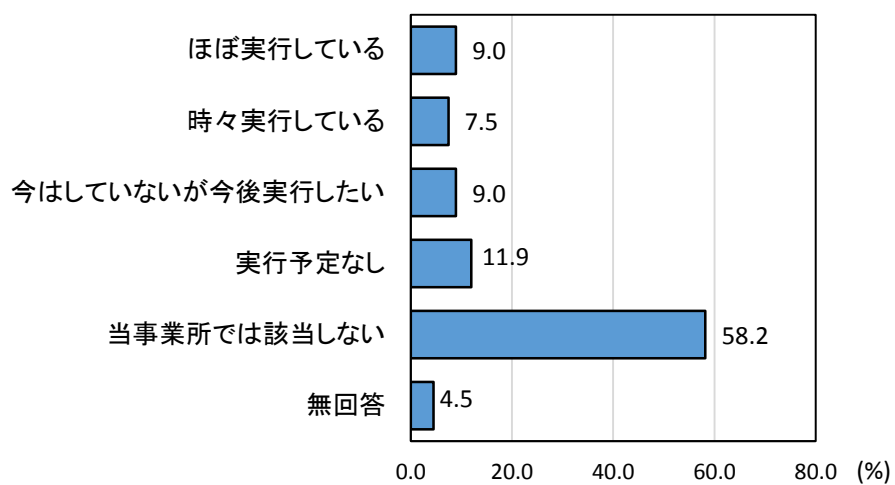
包装、梱包材、販売用備品の減量、再使用



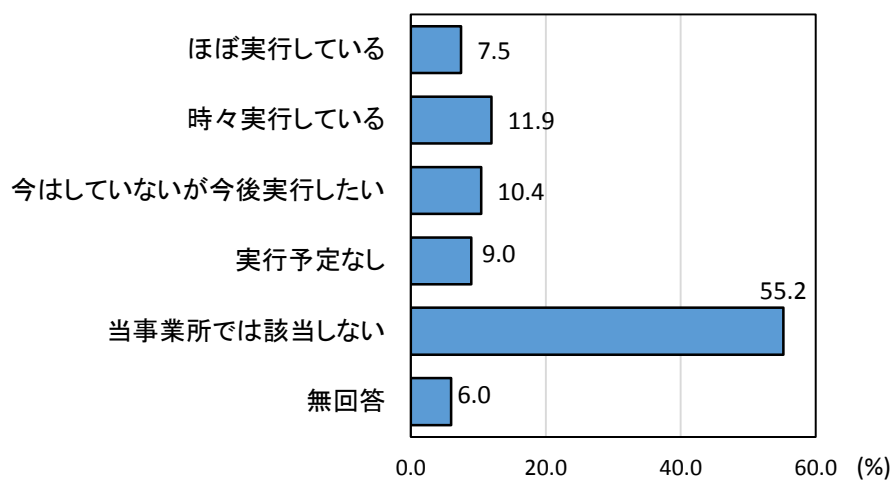
レンタル、シェアなど共同利用サービス



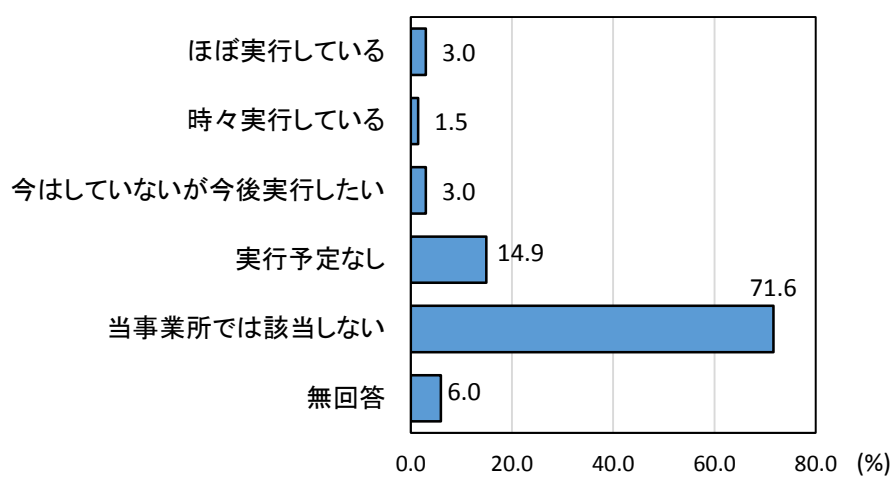
修理、リフォーム等、長く使ってもらうためのサービス



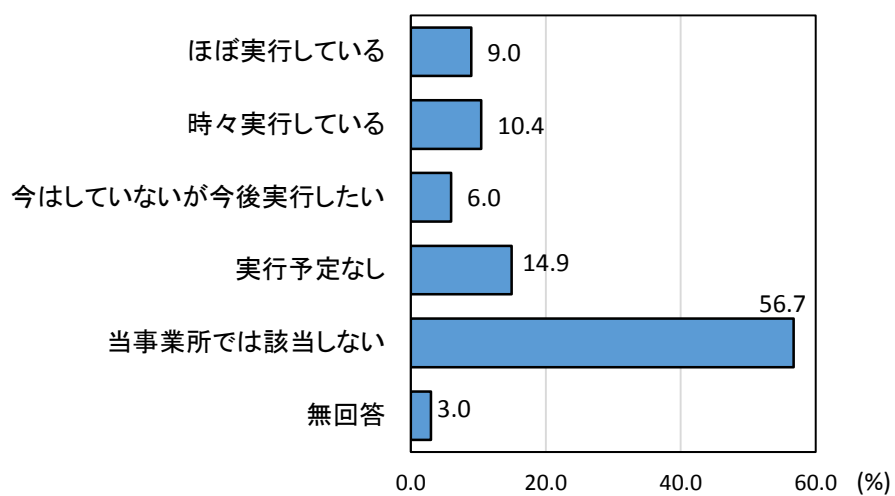
店頭、納品先等での資源回収



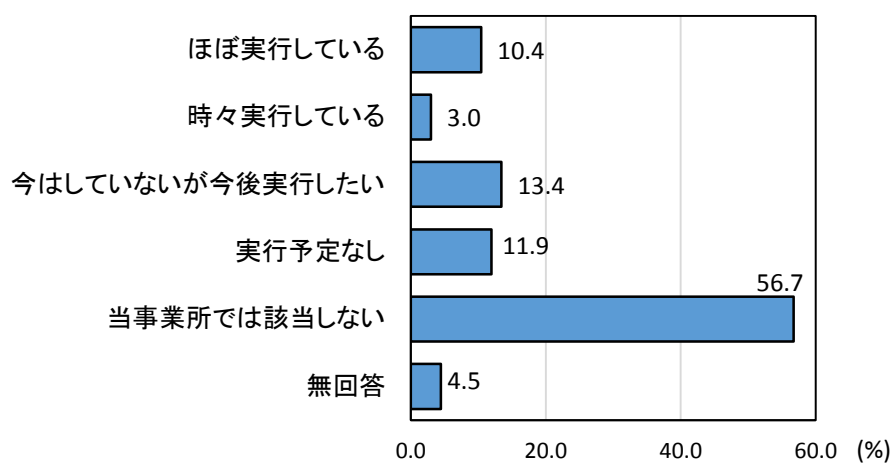
消費者が自分で修理できるよう工夫した製品の開発



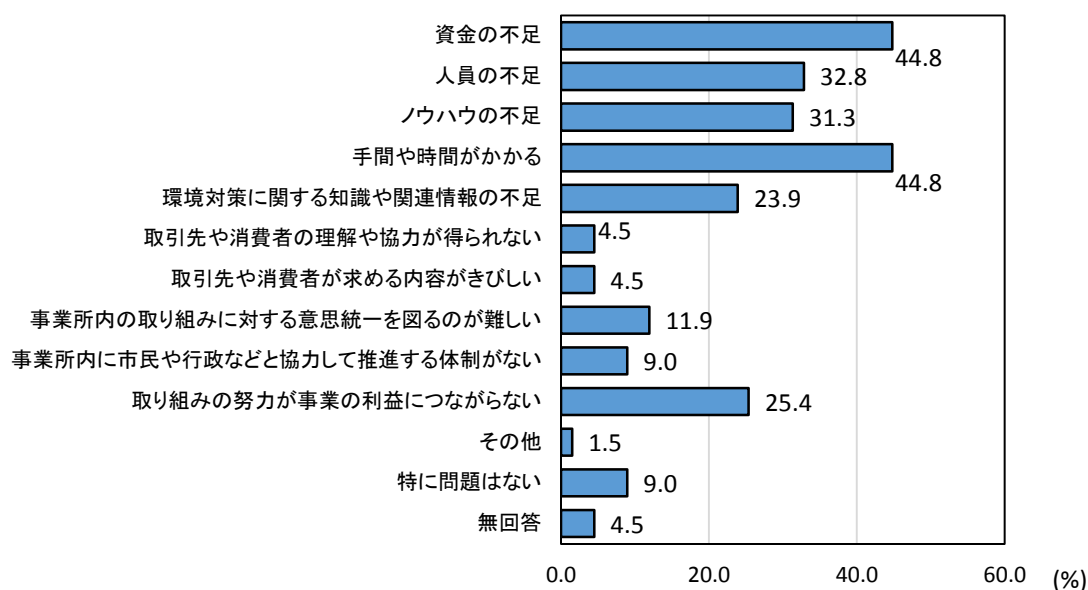
リサイクル素材を用いた製品の開発



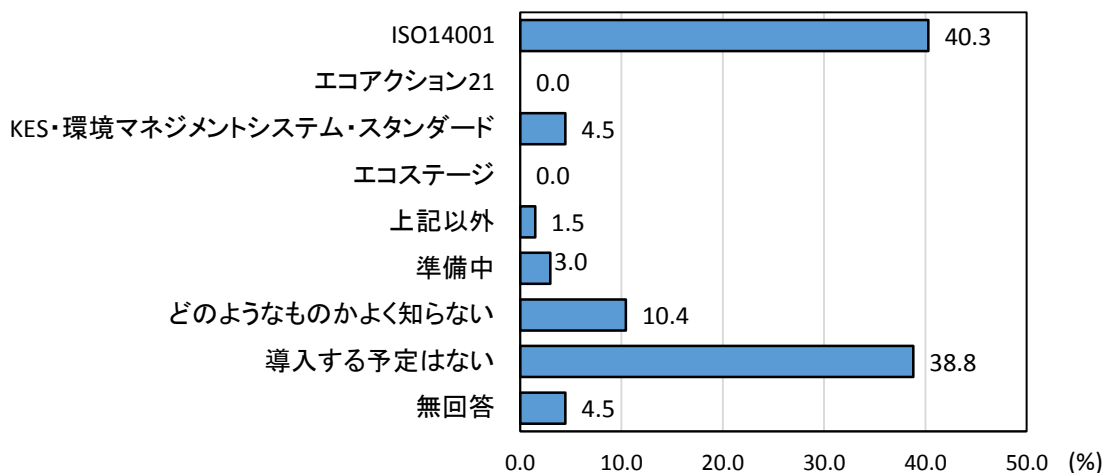
分解、リサイクルしやすい製品の開発



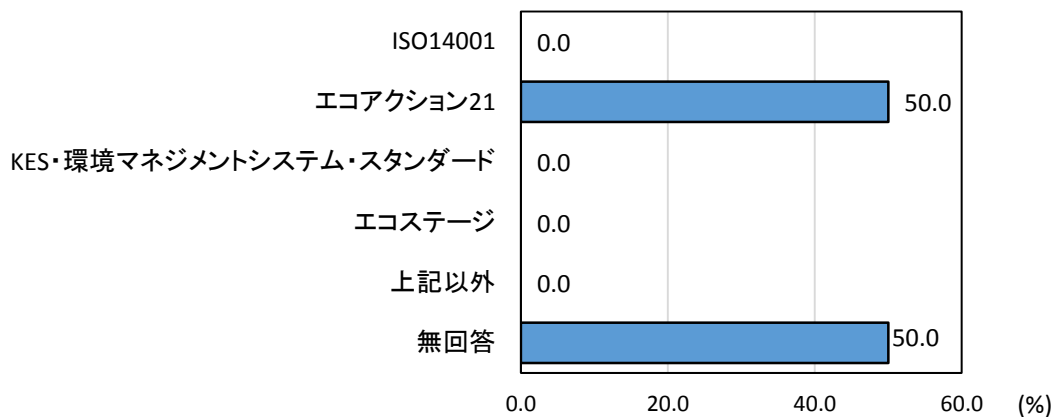
問6. 貴事業所が環境問題への取り組みを進める上で、どのような問題がありますか。(〇はいくつでも)



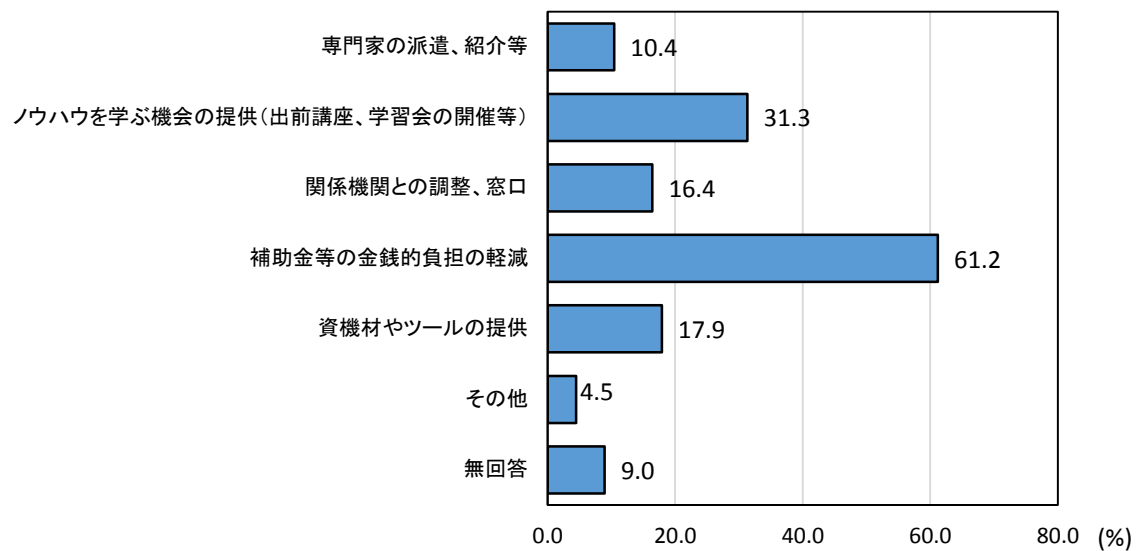
問7. 貴事業所では環境マネジメントシステム (EMS) を導入していますか。または導入する予定がありますか。(〇はいくつでも)



準備中と答えた方が準備している最中のEMS



問8. 貴事業所が環境問題への取り組みを進める上で、市に支援して欲しいことは何ですか。(〇はいくつでも)

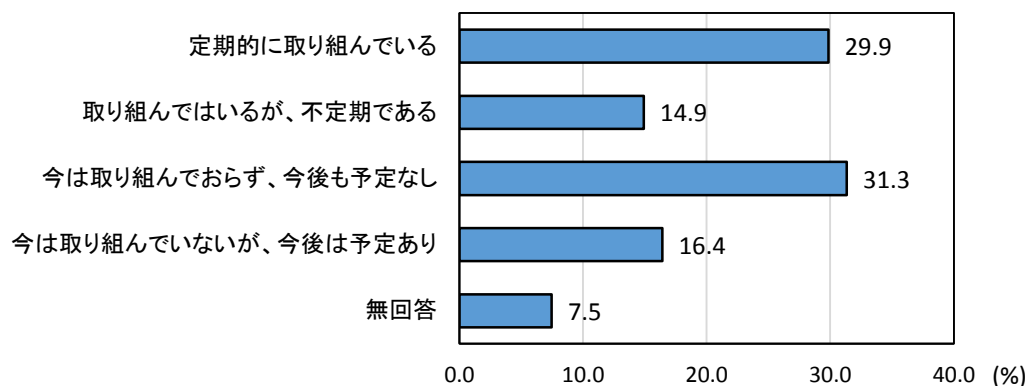


Ⅲ 環境教育・環境学習の実施状況についてお聞かせ下さい。

- 環境教育・環境学習への取組み状況(問9)についての質問に対して、29.9%が「定期的に取り組んでいる」と答え、「不定期に取り組んでいる」は、14.9%となっている。
- 取り組んでいる内容について自由記述で得た回答32件のうち、環境マネジメントシステムの運用に関連した取組みが11件、リサイクルに関連する取組みが7件、省エネの推進に関する取組みが7件などとなっている。
- 現在取り組んでいないと答えた内、「時間の確保が難しい」と53.1%の事業所が答えており、次いで、「予算がない」(25.0%)などとなっている。
- 環境教育を実施する上で市に支援してほしいこと(問12)の質問に対して、53.7%は、「補助金などの金銭的負担の軽減」、32.8%はノウハウを学ぶ機会の提供(出前講座、学習会の開催等)と答えている。

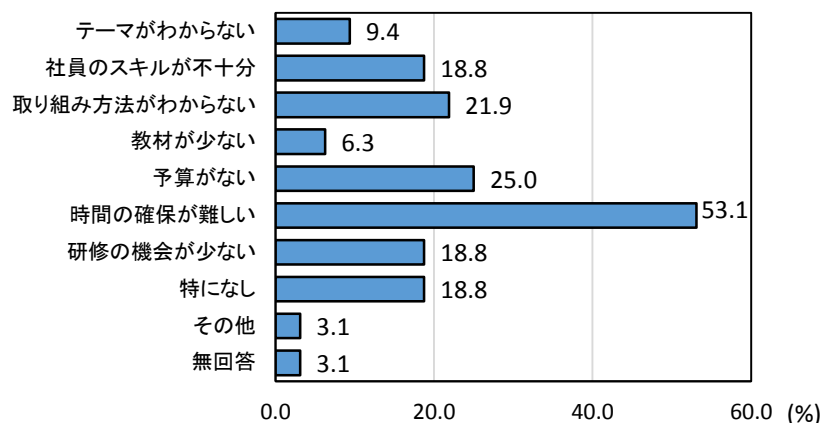
問9. 貴事業所での環境教育・環境学習の取り組み状況を教えてください。

(○は1つ)



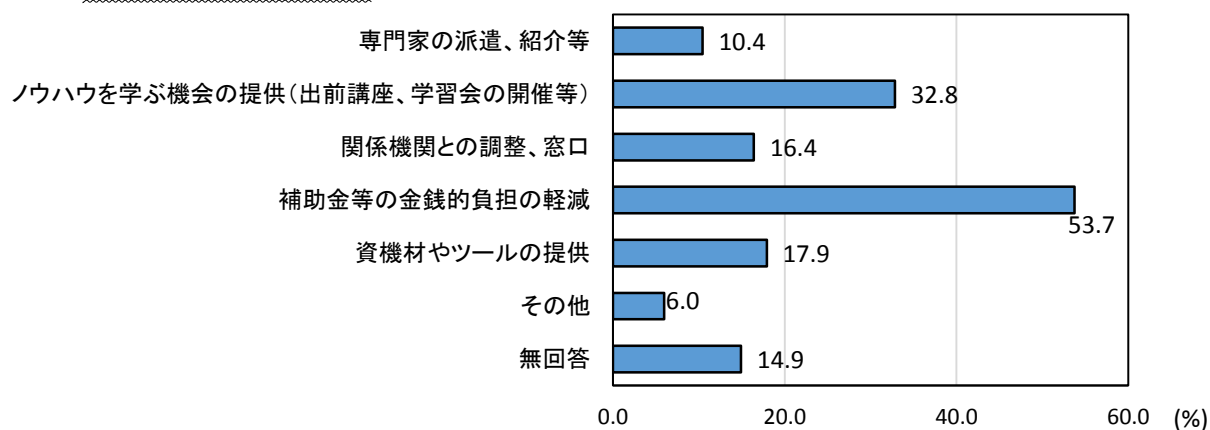
問10. 問9で1、2とお答えになった方にお尋ねします。具体的にどのようなことに取り組んでいますか。

問11. 問9で3、4とお答えになった方にお尋ねします。現在は取り組んでいない理由を教えてください。(○はいくつでも)



問12. 環境教育を実施する上で市に支援して欲しいことは何ですか。

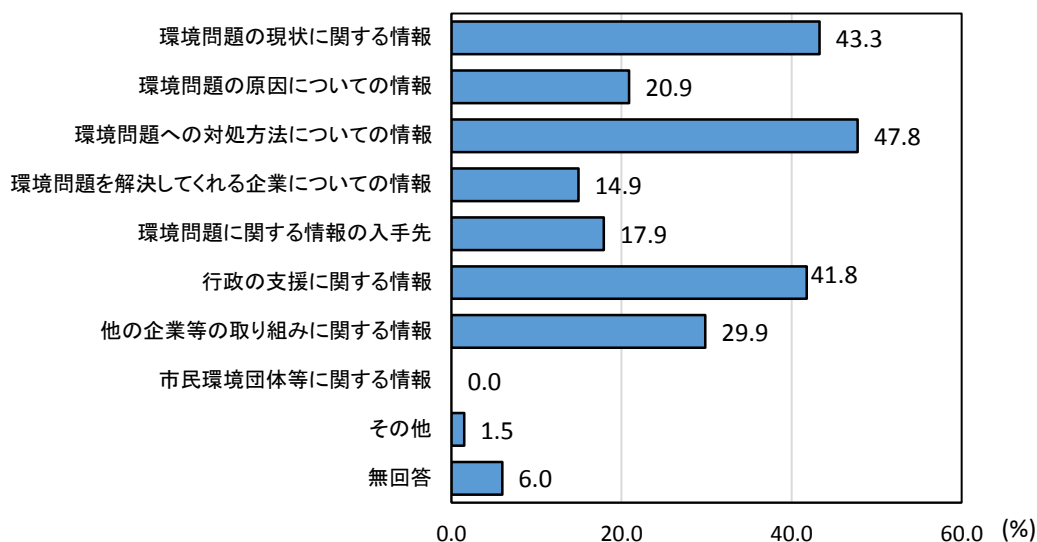
(○はいくつでも)



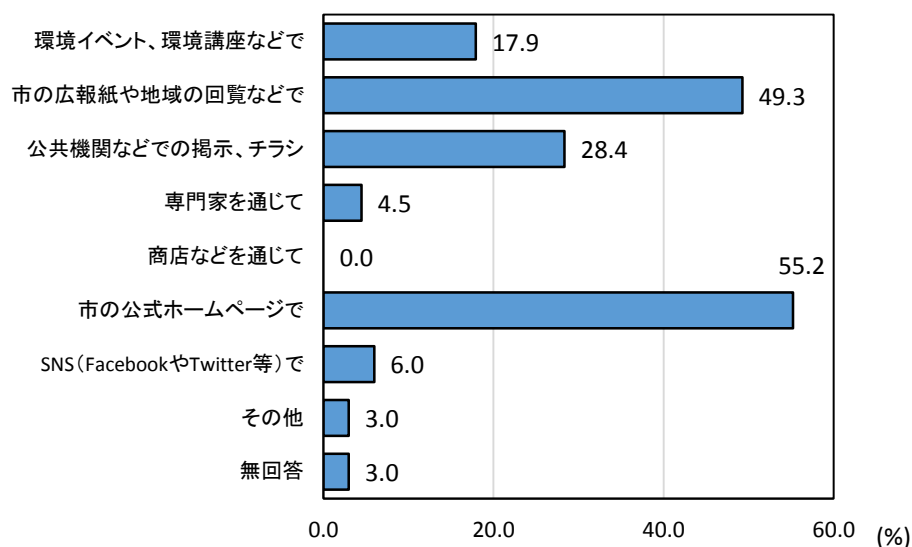
IV 情報の入手、発信についてお聞きます。

- 市から発信される環境の情報についてどのような内容を知りたいと思いますか、との質問に対して、47.8%が「環境問題への対処方法についての情報」と答えており、事業活動に伴って環境問題を引き起こさないよう留意していることがうかがえる。また、43.3%は「環境問題の現状に関する情報」と答えており、身近な環境問題への関心の高さがうかがえる。また、41.8%は、「行政の支援等に関する情報」と答えている。

問13. 市から発信される環境の情報について、どのような内容を知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

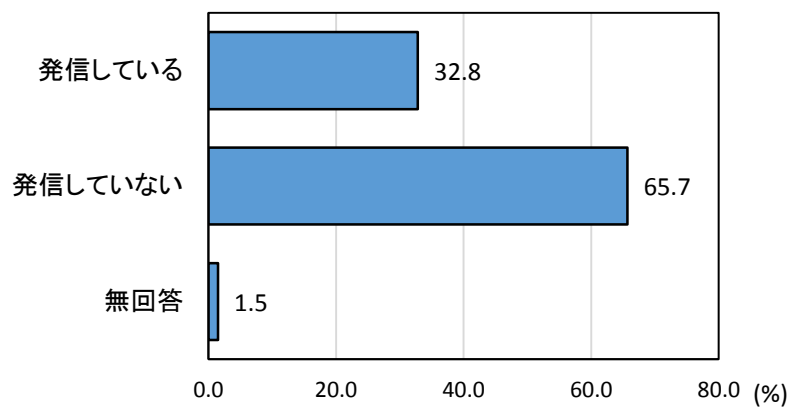


問14. 市から発信される環境の情報について、どのような手段で得たいと思いますか。(〇はいくつでも)

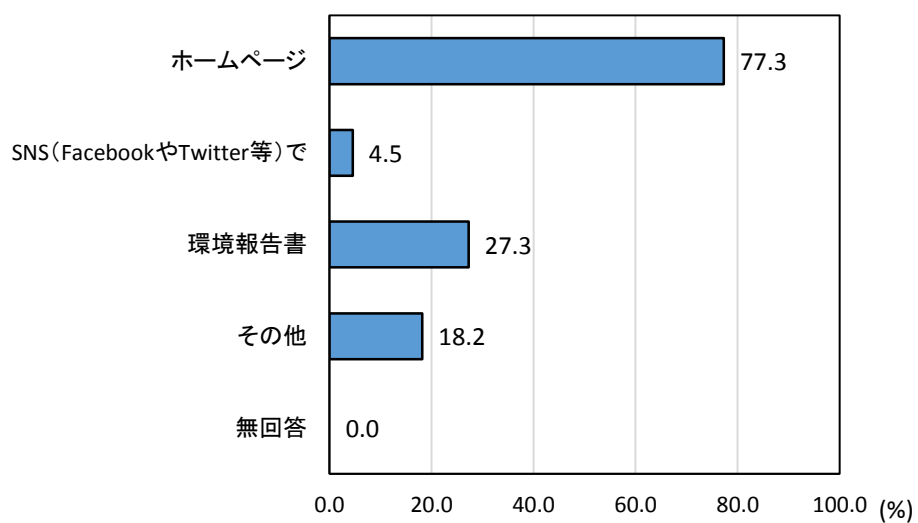


問15. 貴事業所の環境への取り組みについて外部へ発信していますか。

(○は1つ)



問16. 問 15 で「1. 発信している」と回答した方に質問します。情報発信はどのような方法で行っていますか (○はいくつでも)



問17. 丹波市の環境全般についての意見・要望等。

- 環境問題に関わる意見や要望に対して、5件の意見が寄せられた。下表に詳細を記した。

リサイクル方法などの情報があれば知りたい（木製パレットのリサイクル方法など）
環境に関わる届出(大防法、条例、騒音、振動 他)リストがなく不便。 （届出の内容、種類、期限、届出、相談先など）
まだまだ市民全体では他人事になっている。CO ₂ 削減でやりサイクル活動など市職員、学校の先生などの意識改革が必要と考える。
事業系ごみの処理受入れの緩和を望む。
実際問題、市の担当者が弊社に環境問題についてどのように協力してほしいのか、具体的にアピールしていただかないとその重要性がどのようなものかわからない。